

議会運営委員会議会改革検討小委員会

次 第

日時：令和7年3月7日(金)

議会運営委員会終了後

場所：議会運営委員会室

1 開 会

2 事務局・図書館機能の強化について

3 その他

※次回開催日(案)：令和7年3月12日(水)午前11時～

4 閉 会

議会事務局・図書館機能の強化について（案）

体制について

○他府県の議会事務局と比べても標準的な人員配置がなされており、現状は事務局・図書館ともに機能している。しかしながら、若手職員（20代）の配属が多くなっている現状を踏まえるとサポート体制の質の充実と安定的にサポートする体制の確保が求められる。

○広報広聴については、様々な取組がなされているが、SNSのフォロワー数が伸び悩んでいるなどの課題があり、戦略的な議会情報の発信、広報広聴の活動が必要である。

【その他】

○中堅職員の配属など人事のあり方も含め事務局体制の充実を図る方向での検討も今後は必要となるのではないかと。

課題について

◇議会改革の検討、実践を的確にサポートする体制の充実

◇議会運営や委員会運営を安定的にサポートする体制の確保

◇議会情報発信、広報広聴機能の充実

対応について

【議会運営に精通した職員の育成】

（取組例）

- ①全職員を対象とした「議会運営の基本事項」などの研修

【職員の質の向上と組織的対応力の強化】

（取組例）

- ①運営係、調査係、政策法務係、広報広聴係を対象としたレファレンス研修（府立図書館司書の講師派遣）、レファレンスの手引きの作成等
- ②府立図書館（蔵書130万冊）との連携強化による貸出機能の充実
- ③他府県事例の調査・情報提供
（議員提案条例等の情報収集、議員への提供）
- ④執行部との関係強化
〔 執行部職員対象：本会議・委員会制度説明会
事務局職員対象：京都府主要施策説明会 〕

【広報広聴事業の取組の強化】

（取組例）

- ①出前高校生議会、おこしやす京都府議会、大学生との座談会等の既存事業の充実強化
- ②HP、SNSを活用した効果的な情報発信

令和6年6月10日、12月18日 小委員会 資料

令和6年度の検討の進め方について（案）

検討事項

- (1) 多様な主体からの知見を取り入れる仕組みづくりなど、議会の政策提案機能や監視機能等を強化し、その役割を発揮するための取組
→事務局・図書館機能の強化
- (2) 情報発信の更なる充実や、わかりやすく府民の信頼を得られる議会運営など、府民に身近な議会を実現し、多様な主体の参画を促すための取組
→様々な人たちが参画しやすい環境整備
- ・本会議・委員会のオンライン化（全国議長会標準例の改正に伴う検討）
 - ・ハラスメント対応、バリアフリー化

検討の順番

他府県の状況なども踏まえ、次の順で検討を行う。

- 見直しを行う場合に条例・規則等の改正を必要とするもの
 - ・本会議・委員会のオンライン化 12/11 答申済
(※本会議オンライン質問の実施の是非、委員会オンライン開催の拡充等)
- 上記1以外のもの
 - ・事務局・図書館機能の強化 2 定で協議中（答申予定）
 - ・ハラスメント対応、バリアフリー化 未検討